The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	エスキシェヒル・カラチャイ語における「～する人」を表す形式“-çi”
Author(s)	藤家, 洋昭; Akbay, Okan Haluk
Citation	外国語教育のフロンティア. 2022, 5, p. 113-121
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/87571
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

エスキシェヒル・カラチャイ語における「～する人」を表す形式“-çi”

The "-çi" Form Which Indicates Person in Eskisehir-Karachay

藤家 洋昭・AKBAY, Okan Haluk

要約

エスキシェヒル・カラチャイ語における「～する人」を表す形式である”-çi”を記述した。エスキシェヒル・カラチャイ語は、トルコ共和国で話されている、いわゆる消滅の危機に瀕した言語のひとつである。系統的には、トルコ語と同じくチュルク系の言語である。エスキシェヒル・カラチャイ語についての記述はほとんどなく、本研究でとりあげた"-çi"についての記述も全くといっていいほどない。そこで、本研究では"-çi"の性質を明らかにし記述することを試みた。本研究ではフィールド言語学的方法により、まず母語話者から"-çi"に関するデータを収集した。収集したデータは、伝統的な方法にとらわれずに、主辞駆動句構造(Head-driven Phrase Structure Grammar)と特質構造(Qualia Structure)の枠組みに沿って記述した。本研究の結果、エスキシェヒル・カラチャイ語における"-çi"は、名詞につく場合その多くがついた名詞と一体となって個体解釈の名詞を表すのに対し、動詞につく場合はその多くがついた動詞と一体となって事態解釈の名詞を表すことが明らかになった。

QISĞA SÖZ

Bu cazuwda Eskişahar Qaraçayçasında adamnı kögüzgen ”-çi”ni qolğa aldıq. Eskişahar Qaraçayçası, Türkiyede söleşilgen bir til bolup söleşgenleni sanı barbara tarqayadı. Qaraçayça, Türkçe kibik bir Türk tildi. Endige deri Eskişahar Qaraçayçası üsünden etilgen hazna zat coqdu. Bizni bu col qolğa alğanıbız ”-çi” üsünden de etilgen cuq coqdu. Anı amaltın ”-çi” ni qallay zat bolğanın kögüzürge izledik. Bu cazuwnu cazar üçün alan tilbilim coluna köre alğın Qaraçayça söleşgenleden ”-çi” üsünden datala cıydıq. Cıyganıbız datalanı Baş Cürütüwçü Söz Capı (Head-Driven Phrase Structure Grammar) bıla Ençi Capı (Qualia Structure) belgilerine köre caraşdırdıq. Urunuwubuznu ahırında Eskişahar Qaraçayçasında ”-çi” degen söznü bılay bolğanı belgili boldu: Atla bıla birgeley bolsa köbünde ”bir anılaw” at boladı. Fiil bıla birgeley bolsa köbünde ”bolum anılaw” at boladı.

1. はじめに

エスキシェヒル・カラチャイ語は、トルコ共和国エスキシェヒル県で話されているチュルク系の言語である。話し手の数は、正式な調査はなく不明であるが、数千人程度と推測され、いわゆる消滅の危機に瀕した言語である。"qaraçay til"「カラチャイ語」と呼ばれる言語は他の地域においても話されている。ロシアのコーカサス地方では出版活動が行われ、辞書[1]も出版されている。エスキシェヒル・カラチャイ語と他の地域のカラチャイ語がどのような関係にあってどの程度の違いがあるのか、ということはほとんどわかっていない。なぜなら、エスキシェヒル・カラチャイ語の記述がほとんどされていないからである。

他のチュルク系の言語がそうであるように、エスキシェヒル・カラチャイ語も接辞が豊かである。本研究ではそれら接辞のなかで、「～する人」を表す -çi に注目した。そして、"-çi" の性質を記述する。前述したように、エスキシェヒル・カラチャイ語の記述はほとんどなく、"-çi" についての先行研究もほとんどない。

本研究では、伝統的な記述方法にとらわれず、特質構造等の、伝統的な方法でない分析方法にもとづき -çi の性質を明らかにすることをめざして記述する。「エスキシェヒル」・カラチャイ語の記述が目的であるため、コーカサスのカラチャイ語等のバイアスがかからないよう心がけて記述する。エスキシェヒル・カラチャイ語はいわゆる無文字言語であるが、本論文ではチュルク諸語共通アルファベット (Ortak Türk Alfabesi) を用いてエスキシェヒル・カラチャイ語を表記する。

なお、本論文は Akbay と藤家による共著論文である。この論文における分担を記しておくと、Akbay は主にデータの発掘と提供を、藤家は主に全体の構成と提供されたデータの分析を担当した。

2. データと考察

まず、エスキシェヒル・カラチャイ語の "-çi" に関する基本的なデータを考察する。データは、母語話者から直接収集したものである。

エスキシェヒル・カラチャイ語は、形態的には膠着語的性質が強い。すなわち、語幹等と接辞の分離が明瞭であり、接辞が何を表しているかも比較的容易に示すことができる。本研究でとりあげる、"-çi" も独立した形式としては用いられないが、分離が明瞭であり、意味の点では「～する人」を表すということができる。それでは具体的にどいう人を表すのか、先行研究はなく不明である。なお、エスキシェヒル・カラチャイ語は母音調和を持つ言語なので、"-çi" は実際には -çi ～ -çı ～ -çu ～ -çü の 4 つの形で現れる。

2.1 データ

採集したデータを考察すると -çi は名詞に付くものと動詞に付くものがあることが観察される。

2.1.1 名詞に付く例

cır(歌)-çı「歌手」, uw(猟)-çu「猟師、かりうど」、çabaq(魚)-çı「漁師」, aş(料理、食事)-çı「調理師」, keme(船)-çi「船員」, futbol(サッカー)-çu,「サッカー選手」, televizyon(テレビ)-çu「テレビプロデューサー」等

2.1.2 動詞に付く例

動詞に付く場合は、動詞語幹に直接付くのではなく (i)w を介して付く。この、(i)w という形式は動詞の名詞化という性質を持ち、「～すること」といったような意味を持つ。
cırla-(歌う)w-çu「歌好き、よく歌う人」iç-(飲む)iw-çü「よく飲む人」, oqu-(読む)w-çu「読む人」, aşa-(食べる)w-çu「頻繁に食べる人」等

2.2 考察

以上のことからエスキシェヒル・カラチャイ語の "-çi" は、次のような意味を持つとまとめることができる。

・(よく) ～する人
・～好き (な人)
・～を職業としている人

動詞に付いた場合は、基本的に「(よく) ～する人」、「～好き (な人)」を表し、職業を表すものはあまり見られない。一方、名詞についた場合は多くが職業を表す。

3. 分析

本章では、前章のデータをさらに詳しく見る。そしてそれらを分析し、-çi が持つ性質を明らかにすることを試みる。前章で見たように、エスキシェヒル・カラチャイ語の "-çi" には、「よく～する人、～好きな人、～を職業としている人」という意味があるとまとめられたが、単に事実を述べているだけであり、これだけでは科学的な記述とは言えない。

3.1 記述方法

ここではさらに客観的に考察するために、個体解釈と事態解釈という考え方を導入する。

3.1.1 個体解釈と事態解釈

名詞の意味は、さまざまな観点から議論することができるが、恒常的な性質をもっているか、あるいは一時的な性質であるかに着目したのが、個体解釈と事態解釈である。これは、もともと述語についても議論されていたが、本研究の対象は名詞とそれに付く形式であるので、名詞に限ってみていく。

まず、個体解釈の名詞というのは、恒常的な性質を持つものであり、職業名などがこのなかに含まれる。「バイオリニスト」などが例としてあげられる。「バイオリニスト」は実際に演奏していないときでも「バイオリニスト」と呼ばれる。次に、事態解釈の名詞は一時的な性質を持ち、「歩行者」などが例としてあげられる。「歩行者」が「歩行者」と呼ばれるのは歩いているときだけであり、たとえはバス停からバスに乗れば「歩行者」ではなくて「乗客」になってしまう[2][3]。

以上のような、個体解釈と事態解釈を記述するために本研究では特質構造(Qualia structure)という考え方を記述デバイスとして用いる。

3.1.1.1 特質構造

特質構造は、Pustejovsky[4]によって提唱されているものであるが、本研究においては具体的には先行研究[2][3]にもとづく。用語等は先行研究[2]のものを用いる。それによると、特質構造は次のような要素から成り立っている。

構成役割 (Constitutive role)：その物を構成する部分・部品、中身、材料、～の一部分などの内的な性質。

形式役割 (Formal role)：具象物か抽象物か、自然物か人工物か、液体か個体か気体か、性別形状などの外的な属性。

目的役割 (Telic role)：対象物が本来的に意図された目的や機能。

主体役割 (Agentive role)：それを産み出す動作や原因、成り立ち、出処。

これらによると、個体解釈の名詞は、つぎのようになる。

形式役割＝ヒト
目的役割＝～する

一方、事態解釈の名詞は、つぎのようになる。

形式役割＝ヒト

主体役割＝～する

大きな違いは「～する」が目的役割か主体役割かである。例えば、バイオリニストにとってバイオリンをひくことは「目的あるいは機能」であり、歩行者は(歩行者と呼ばれる)歩行という動作を実際に行っている。

3.1.1.2 判別テスト

個体解釈と事態解釈を客観的に見分けるにはどうすればいいのだろうか。個体解釈と事態解釈を見分けるテストは、英語あるいは日本語においても提案されているが、必ずしも十分ではなく、不安定つまりゆれが見られることがある。しかし、他に信頼できる方法もないので、本研究では英語あるいは日本語において提唱されているテストをもとにエスキシェヒル・カラチャイ語のためのテストを考案する。

・形容詞的修飾語との共起

これは、個体解釈の名詞と相性のいい形容詞的修飾語を見る手法で、「優秀な」等が用いられる [2]。例えば個体解釈の名詞とされる「バイオリニスト」等であれば「優秀なバイオリニスト」のように問題なく共起できる。ところが事態解釈の名詞であるとされる「歩行者」では「??? 優秀な歩行者」のように不自然になる。

・「そだてる、やめる」などのような動詞との共起

個体解釈の名詞は、「そだてる、やめる」などのような動詞と相性がよく、例えば「バイオリニストをそだてる」のように言うことができる。一方、事態解釈の名詞はそうではない。「*歩行者をそだてる」

また、次のようなテストもある程度有効かもしれない。

・逆接的な表現の前後での意味の矛盾

事態解釈の名詞は、相反する意味を持つ場合、逆接的な表現の前後で用いると矛盾する。

*太郎は金持ちだが貧乏だ。

ところが、個体解釈の名詞は、実際にあることをしてないくてもよいため、例えば、「彼はバイオリニストであるが、最近バイオリンをひいていない。」ということができ、矛盾はない。

3.2 テストと結果

個体解釈であるか事態解釈であるかは、文法より意味が大きくかかわってくる。このため、テストの枠組みも意味に重点をおいて作っても大きな問題はないと考えられる。そこで、「優秀な」「～をそだてる、やめる」「等位的文での使用」のエスキシェヒル・カラチャイ語バージョンを考えることにする。

結果、igi「優秀な」, cetiştir-「養成する、そだてる」, ... amma「... しかし ...」... をテストに用いることにする。「～をやめる」については、-ni qoy-「やめる」という言い方があるが、"-çi" に直接付かず、"-lik" を介して付く。"-lik" は、「～業、～の仕事」という意味を持つと推測できるが、これ以上 "-lik" について触れることができなかったため -ni qoy-「～をやめる」をテストに採用することを見送った。

3.2.1 結果

3.2.1.1 igi「優秀な」

igi には「優秀な」という意味がある。"-çi" が付かない名詞の例は次のようになる。
igi avukat「優秀な弁護士」, igi hoca「優秀な教師」, igi doktor「優秀な医者」, igi mühendis「優秀なエンジニア」, igi talebe「優秀な学生」

"-çi" が付く名詞との組み合わせを見てみると興味深い結果が得られた。まず、
igi uwçu「優秀なかりうど」, igi çabaqçı「優秀な漁師」, igi aşçı「優秀な調理師」, igi futbolçu「優秀なサッカー選手」, igi kemeçi「優秀な船員」, igi televizyonçu「優秀なテレビプロデューサー」等は、igi と結びつくことができそれぞれ優秀な～という意味になる。これらは、すべて名詞に "-çi" がついたものである。それでは動詞に -çi がついたものと igi が組み合わさるとどうなるだろうか (日本語訳を添えたが、igi の意味を含まない訳。例えば、「飲む人」は içiwçü の訳である)。
igi içiwçü「飲む人」, igi aşawçu「食べる人」, igi okuwçu「読む人」, igi çuklawçu「寝る人」
これらは、エスキシェヒル・カラチャイ語としていわゆる非文ではない。しかし「優秀な」という意味を持たない。例えば、igi aşawçu は「よく (量ではなくて頻度) 食べる人」という意味になる。他の例もいずれも「よく～する人」という意味になる。したがって、igi がつくと非文法的になるとは言えないが、「優秀な」という意味の igi はつかない、あるいは「よく～する」という意味で解釈されるということになるが、それらの区別ができるのでこのテストは有効であると言える。

3.2.1.2 cetiştir-「そだてる、養成する」

cetiştir- は、「そだてる、養成する」という意味の動詞である。この動詞を用いて、
... cetiştirgen fakülte bar mıdı?

養成する・学部・ある・か (三人称)「～をそだてる / 養成する学部はありますか」
というテストを作成した。まず、"-çi" が付いていない名詞のうち、avukat, hoca, doktor, mühendis, などはこのテストをクリアする。「名詞 -çi」はどうかというと、uwçu, çabaqçı, aşçı, futbolçu, kemeçi, televizyonçu 等もこのテストをクリアする。ところが、「動詞 -çi」ではこのテストをクリアできないものが見られる。içiwçü, aşawçü, oquwçu, çuqlawçu などは

このテストをクリアできない。

例 : *Oquwçu cetiştirgen fakülte bar mıdı?

読む人・養成する・学部・ある・か(三人称)

3.2.1.3 amma「しかし」

amma「しかし」を用いて、

名詞 -çidi amma bu sagatta 元の動詞の否定形(あるいは元の動詞を否定する表現)

というテストを考案した。このテストによれば次のようになる。

まず、"-çi" が付かない名詞のうち、hoca などはこのテストをクリアする。

Şamay hocadı amma bu sağatta ders bermeyt.

「シャマイは教師であるが最近授業をしていない。」

つぎに、「名詞 -çi」のうち、çabaqçı などもこのテストをクリアする。

Şamay çabaqçıdı amma bu sağatta çabaq tutmaydı.

シャマイは漁師であるが、最近全く魚をとっていない。

「動詞 -çi」のうち、aşawçu などもこのテストをクリアする。

Şamay aşawçudu amma bu sağatta aşamayt.

「シャマイは食べるのが好きな人であるが最近食べない。」

つまり、他とは違って差が見られない。それでは、このテストに問題があってすべてクリアしてしまうかというと、もちろんそうではなく、次のようなテストに通らない例をあげることができる。

*Şamay awruwludu amma awrumaydı.

シャマイ・病気である・しかし・病む(否定・三人称)

「* シャマイは病気であるが病気ではない。」

矛盾になる。

3.3 この章のまとめ

以上の考察で明らかになったことは次のとおりである。

本研究が考案したテストはかなりの程度有効であると見られるが、エスキシェヒル・カラチャイ語の場合、'igi' が個体解釈の名詞でないと思われるものと組み合わさったとき、非文にはならず、'igi' が別の意味で解釈されるということがあげられる。また、相反するような内容のものを 'amma' で結んだものについては、ほとんどがテストをクリアし、個体解釈と事態解釈の間に大きな差が見られない。まとめると、エスキシェヒル・カラチャイ語における "-çi" が付いてできた名詞には、

・個体解釈の名詞、事態解釈の名詞が見られる

・ただし、動詞に "-çi" がついたものはほとんどが事態解釈のものである。
　すなわち、"-ci" が持つ語彙情報は次のようになる。

-çi 動詞に付くタイプ
SYN [HEAD[noun]]
ARG-ST <1 V: 2 [QUALIA [AGENTIVE 3]]>
SEM [QUALIA [FORMAL 人間 , AGENTIVE 3]]

-çi 名詞に付くタイプ
SYN [HEAD [noun]]
ARG-ST <1 N: 2 [QUALIA ...]>
SEM [QUALIA [FORMAL 人間 , TELIC 2 を～する]]

　動詞に "-çi" がついたもののほとんどが事態解釈なのはなぜなのだろうか。英語では、"teacher" のように、動詞から派生されたものであっても個体解釈の名詞を見つけることは困難ではない。さらに、エスキシェヒル・カラチャイ語と同系の言語であるカザフ語には "oqıtıwşı < oqıt-「教える」"「教師」という語があるが、これをエスキシェヒル・カラチャイ語に直訳した "'*oqutuwçu < oqut-「教える」" という語はない。

4. まとめ

　エスキシェヒル・カラチャイ語における -çi を記述した。
　本研究で明らかになったことは次のとおりである。
・個体解釈の名詞、事態解釈の名詞が見られる。
・ただし、動詞に "-çi" がついたものはほとんどが事態解釈のものである。

引用文献

[1] История, филология эмда экономика джанындан хурмет орденли къачай-черкес илму излем институт,
　　1989　Къарачай-малкъар-орус сёзлюк, руский язык.
[2] 影山太郎
　　2011　『名詞の意味と構文』大修館書店.
[3] 影山太郎
　　1999　『形態論と意味』くろしお出版.
[4] Pustejovsky, J.
　　1995　*The Generative Lexicon*, MIT Press.

参考文献

История, филология эмда экономика джанындан хурмет орденли къачай-черкес илму излем институт,

1989　Къарачай-малкъар-орус сёзлюк, руский язык.

Pustejovsky, J.

1995　*The Generative Lexicon*, MIT Press.

影山 太郎(編)

2011　『名詞の意味と構文』大修館書店.

影山 太郎(編)

2009　『形容詞・副詞の意味と構文』大修館書店.

影山 太郎(編)

2001　『動詞の意味と構文』大修館書店.

影山 太郎

1999　『形態論と意味』くろしお出版.